



学校法人 緑ヶ岡学園

釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号 www.midorigaoka.ac.jp

- 釧路短期大学 ● 釧路短期大学附属幼稚園
- 釧路短期大学附属図書館 ● 釧路短期大学生涯教育センター
- 武修館高等学校 ● 武修館中学校



武修館中学校「研修旅行」



武修館高等学校「市内清掃活動」



釧路短期大学附属幼稚園  
「元気いっぱい」



釧路短期大学 生活科学科  
生活科学専攻「地域体験学習」



釧路短期大学 幼児教育学科  
「観察演習」



釧路短期大学 生活科学科  
食物栄養専攻「食品学基礎実験」



### 理事長よりご挨拶

学校法人緑ヶ岡学園  
理事長 中島太郎

緑ヶ岡学園は、平成30年3月末をもって専門学校を閉校し、現在は釧路短期大学、武修館高等学校、武修館中学校、短期大学附属幼稚園の4つの学校、幼稚園において、616名の学生・生徒と81名の園児が勉学等に励んでいます。

本学園は、昭和39年の創立以来、「愛と奉仕」「人を愛し人に尽くす」の建

学の精神のもと、釧路地域唯一の私学として、教育・研究等を通じての人間形成と即戦力として地域社会に貢献できる学生・生徒の育成を目指し、地域に密着した教育を実践してまいりました。

短期大学には生活科学科と幼児教育学科の二つの学科がありますが、生活科学科の生活科学専攻では、家庭、地域、

職業等生活全般を理解・改善するための幅広い知識、技能を習得し、地域社会の創造に関わることができる人材の育成を、食物栄養専攻では、ライフステージに対応した健康な生活を創造できる職と栄養の知識、技能を有し、地域社会に貢献できる人材の育成を、また、幼児教育学科では、次世代を担う子供たちの心身の健全育成を図ることができる専門的な知識や技術の学びを通じ、豊かな人間性と感性を持った保育者の養成を目指しております。

高等学校・中学校では、中高一貫コース、普通コース、スポーツコースにおいて文武両道を目指した学力向上、部活動充実のための各種方策を講じるとともに、校訓「愛と奉仕に生きる」の精神のもと、ボランティア精神の向上を図り、地域で必要とされる人材の育

成を目指しております。

また幼稚園においては、教育目標を「明るく元気に遊ぶ子ども」「素直で優しい子ども」「最後までやり抜く子ども」として、幼児の毎日の生活が楽しく充実したものになるような環境づくりと、全クラス2人担任体制でしっかり保育を進めております。

緑ヶ岡学園では、これからも教職員ひとり一人が持つ力を十分に発揮し、お互いが協力し合い知恵を出し合って、更に地域、保護者の皆様に愛され信頼される学園を目指し努力してまいりますので、皆さまにおかれましては、緑ヶ岡学園に対し、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 釧路短期大学



### ごあいさつ

釧路短期大学  
学長 杉本 龍紀

釧路短期大学は、入学者の約85%が釧路管内の高校新規卒業者・居住者で(根室管内を含めると約95%)、卒業生の80~90%が釧路管内に就職する地域密着型大学です。進学・就職による若者の地域外への流出が人口減少の大きな要因となっている昨今、本学は、地元の若者が地域で働き続ける「人口の域内循環」を形成・維持する役割を、微力ながら担っています。

この役割を担い、地域に必要とされる高等教育機関であり続けるには、学生たちが、社会・地域・職業で生きる社会人として有為な存在と認められる新たな「価値」を得られるよう支援すること、それが本学の使命と考えます。

この「価値」の内容は、「短期大学士」にふさわしい学修成果を獲得する、事

務・販売・サービス・司書など幅広い職に就ける知識・技能を修得する(生活科学科生活科学専攻)、食と栄養を深く学び栄養士などの専門職を通じて人々の食生活改善・健康増進に貢献できるようにする(生活科学科食物栄養専攻)、子どもと教育、保育、福祉などを学び幼稚園教諭や保育士などの保育専門職として活躍できるようにする(幼児教育学科)、社会で生きるための教養や社会人としての常識やマナーを修得する、多様な他者との関係を作る力や地域社会に関わる意識・力を形成するなど、様々です。

学生たちがたくさんの「価値」を得られるよう、これからも授業や学生支援の改善に努め、地域社会への役立ちを強める所存です。

## 生活科学科 生活科学専攻

### 図書館司書資格をめざして～情報サービス演習Ⅱ

釧路短期大学 生活科学科

生活科学科生活科学専攻では、学生の半数以上が図書館司書資格の取得をめざしています。図書館司書資格取得のための専門科目について、1年次に図書館概論や情報サービス論など理論を中心とした科目を学んだのち、2年次には、図書館現場での実践に結びつく演習科目が授業の中心となります。その中でも、情報サービス演習Ⅱでは、図書資料とインターネットを介して得られる様々な情報を組み合わせ、統合し、正しい情報であるという根拠を示しながら質問に回答するレファレンスサービスの技術を習得します。学生は個々に与えられた課題に取り組み、授業の中で調査過程とともに回答を発表します。学生は、自分自身で実際に調べ、発表することで実践につながる力

を身につけていくのですが、他の学生の発表の回答に至る過程の中により多様で深い学びがあります。「そんな調査方法があったのか」一テキストと自分の思考だけでは至らなかった学びがそこにあるのです。

図書館利用者の知識・情報獲得を支援するレファレンスサービスは、図書館司書の仕事の中でも今後ますます重要性が高まります。同時に、時代の流れとともに資料も変化していく中で、常に学びつづけることが要求されます。学生たちは、図書館の理念を根っこに、変化する時代に対応できる『学ぶ力』を鍛え、知識基盤社会と言われる時代を生き抜く力を卒業までに身につけていきます。



## 生活科学科 食物栄養専攻

### 「食べるのお仕事」発行

釧路短期大学 生活科学科

筆者は学生募集担当でもあるので、高校の進路指導部の方とよく会う。打ち解けてよく言われるのは「じつは栄養士の仕事がよく分からない」という告白。そのたび、私たち栄養士の広報不足を痛感してきた。

栄養士・管理栄養士は、世間の認識よりもずっと広域に分布している。大きさでなく、食あるところすべて。病院、福祉施設、社食、学食、学校、保健所、商品開発・検査、フリーランス、研究所、大学。考え方の足場は理系と文系の両方。実際の仕事はコミユカと感性が重視され、かなりクリエイティブ。「人が好き」で「食べるのが好き」な人に向く。仕事柄、食いっぱぐれることもない。

今年に入り、ネット媒体「釧路短大食物栄養通信・食べるのお仕事・栄養のプロになろう」を、(公社)北海道栄養士会釧路支部とともに制作し、配信し始めた。本学公式のホームページやイ

ンスタグラムでご覧いただける。頻度は月一回程度。イラストとデザインは有名どころに依頼したのでさすがの仕上がり。「四コマまんが・えいようの人々」は実話がベース。「栄養の現場から」に登場するのは卒業生ら。管理栄養士お気に入りの「喜ばレシピ」は作り方にとどまらず、治療食に変更するときのコツも示す。ときどきの特集では、ブドウ糖果糖液糖って何?とか、栄養士がシカ肉を推す理由など、日ごろからよく聞かれることを扱う。現時点で16号までの発行が決まっている。ぜひシリーズでお楽しみを。



## 幼児教育学科

### 親子で楽しい1日～KJCランド

釧路短期大学 幼児教育学科

幼児教育学科では、恒例となった、KJCランド～こどものあそびの日～(第4回、1/21)を開催。3階舞台コーナーでは2年生の学修成果でもある5領域を意識し創作劇を交えた子ども参加型のプログラム(各30分強)を5つ。2階工作コーナーは1年生の指導案演習の成果を子どもたちの前で実践する意味も込めて実演指導。企画を主導した地域教育研究ゼミでは、1教室を海の探検バージョンで迷路へと改造しました。造形ゼミの校舎装飾ですが、2・3階をお菓子の国、白雪姫のイメージにしてみました。そして、何と例年の1.5倍以上の611名の親子の皆さまにご来場頂くことができました。学外からも、釧路総合振興局、釧路市産業振

興部産業振興室、くしろブックシェアリング、大きな木、こめしん、栄養満点カフェLoopの皆様からご協力いただきました。感謝致します。

霧フェス時期の音楽ゼミによるミニオペレッタ公演(MOO・EGG特設ステージ)も恒例となりました。昨年度は「くしろに生まれた桃太郎」(7/29)、今年度は7/28(土)、「新・浦島太郎と人魚姫～みんなちがってみんないい」。幼稚園実習を終えた音ゼミ生が準備中、トーンチャイム演奏もお届けします。

なお、今年度は校舎の耐震補強工事継続中のため、1月のKJCは体育館中心の企画となりそうです。



企画・準備主力の地域教育研究ゼミ



ステージ「いたずらおかみと大きなお弁当」

生活科学科



◆ 着任にあたって

釧路短期大学 生活科学科  
准教授 室田 享子

この4月から、生活科学科食物栄養専攻に着任しました。

担当科目は、応用栄養学、臨床栄養学、校外実習などです。

3月まで釧路協立病院に管理栄養士として勤務し入院給食や栄養指導に携わってきました。病院では、一人ひとりの患者さんに向き合い、思いに寄り添う姿勢が求められます。

今は、一堂にたくさんの学生さんを前にして、一人ひとりの学生さんに何がどう伝わっているのか分からないまま1か月が経ちとても不安な気持ちです。

私自身は、学び直しの毎日が嬉しく

てワクワクしているのですが、早く一人ひとりの学生さんと一緒にこの気持ちを共有し学びあう姿勢を大切にできるように頑張りたいと思います。

最近、92歳の料理研究家松山タミさんの本を読みました。

“人と人は、出会って磨きあうもの、友人でも家族でも、うんと年若くても、知らないことを教えてくれる人は自分の先生と思っています”(「いのち愛しむ、人生キッチン」文芸春秋)

私も謙虚な気持ちで新しく出会う方々からたくさん勉強したいと思えます。

どうぞ宜しくお願いいたします。

幼児教育学科



◆ 学生とともに成長を

釧路短期大学 幼児教育学科  
専任講師 穴水 ゆかり

4月に釧路短期大学幼児教育学科に赴任しました。「教育心理学」「発達心理学」など、心理／相談系の科目を担当させていただきます。

幼児教育がその後の人生に大きな影響を与えるということについては、近年の研究でも明らかになってきています。このことを最初の授業で伝えたところ、やや難しい説明だったにもかかわらず、ぱあっと目を輝かせる学生たちの表情が強く印象に残りました。学ぶ意欲の強い学生が多いのだと感じました。今後も、保育者が子どもたち相手に行っている日々の活動一つ一つに、意味や意味、根拠があるのだと伝

えていきたいと考えています。

3月までは、これまでおもに高校の養護教諭として、むしろ短大生や、保育園・幼稚園の若い保護者に近い年齢にある、生徒たちとかかわってきました。担当授業は必ずしも乳児・幼児にかかわることばかりではありませんが、特に小さなお子さんに関することについては学生さんたちと一緒に学びつつ、授業を進めております。

年齢のわりには未熟な1年生教員ですが、学生たちとともに教員として成長していきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



幼児教育学科



◆ はじめまして

釧路短期大学 幼児教育学科  
専任講師 篠木 真紀

幼児教育学科講師、こども造形ゼミ担当の篠木真紀です。

生まれは奈良県奈良市、東大寺の裏手に実家があります。26歳で釧路に結婚を機に移住しました。夫と息子2人の4人暮らしです。

出身大学は奈良教育大学大学院(技術教育)、北海道教育大学大学院(美術教育、学校臨床心理)です。学ぶのが好きで、仕事をしながら大学に通っていました。平成28年3月までの23年間、釧路市内、管内で小学校の教師をしていました。その時の専門は図画工作と特別支援教育です。その時に子

どもたちの発達段階や一人ひとりの特性に合わせた指導支援が必要だと実感し、それについて研究を進めています。

また小学校を退職した後は付箋を用いたスケジュール管理、会議のファシリテーション、チームビルディングなどの講師として、保育園をはじめ一般企業などで研修講師をさせていただいています。子どもたちにどう関わっていくかと同時に、職場の同僚たちとどのようによい関係を作りながらチームを作っていくかが研究のテーマです。

最近の関心ごとは、忙しい保育者さん達が効率よく業務を進めていける「保育者ノート(仮)」の開発です。どうぞよろしくお願ひします。

生活科学科



◆ はじめまして

釧路短期大学 生活科学科  
専任講師 鈴木 和也

今年度、釧路短期大学生活科学科の専任講師として

着任しました、鈴木和也と申します。専門は経営学で、ビジネス実務の資質、能力開発、人材育成、教材開発、教授法などについて研究をしています。この3月まで、26年間にわたり山梨県立学校の商業科の教員として勤務してきました。平成27年4月から3年間は、軽度知的障害のあるお子さんに対して、職業教育を専門に行い就労を目指

す高等部のみの特別支援学校に勤務し、別の視点から社会で自立して「働く」ために必要な知識や技能の修得に係る教育に携わってきました。

今回、ご縁をいただきまして歴史と伝統のあるこの釧路短期大学の教員として勤務することになりました。これまでの経験を活かして地域に根差した人材の育成、さらには社会で「自立」して働き続けられる人材の育成に尽力をしていく所存です。どうぞよろしくお願ひいたします。

幼児教育学科



◆ はじめまして

釧路短期大学 幼児教育学科  
専任講師 白川 和希

皆さん、こんにちは。今年4月より釧路短期大学幼児教育学科に着任いたしました、白川和希と申します。担当科目は、専門教育科目の「健康論」、「幼児体育」、「レクリエーション実技」や一般教育科目の「生涯スポーツ実技」などを担当いたします。これまで、運動と睡眠の関係、運動と呼吸の関係についての研究、および、ニュースポーツの開発・普及活動やスポーツの振興に携わって参りました。それらで得られたノウハウや科学的データを学生に伝えつつ、学生とともに釧路の地域特性や現状に合わせた面白い取り組みを実践していき

と考えております。着任して1ヶ月余りですが、釧路短期大学の学生は挨拶ができ、元気が良く、明るく、真面目という印象です。また面談の時には夢を熱く語る一面も持ち合わせておりました。学生たちが1つでも多くのことを修得でき、夢を掴めるよう、手助けができればと思っております。

私のこれからの目標は、学生と一緒に、地域の子どもたちが体を使って楽しく遊び、運動できるような環境を作りたいと思っております。釧路や道東の現状を把握できておりませんが、地域に根ざした活動をして参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

## 武修館高等学校



### ◆ 生徒の頑張りに御支援を！

武修館高等学校  
武修館中学校

校長 馬場 保 孝

武修館中学校及び武修館高等学校の教育活動に、日頃より多大なる御理解と御支援を賜り、心よりお礼申し上げます。お蔭をもちまして、昨年度は、平村美瑛君（3年一貫）の札幌医大合格、前野倅一郎君（現2年一貫）の国際バカロレアによるイギリス留学の決定、アイスホッケー部の全国選抜大会2連覇に代表される部活動の活躍、中学生を含めた各種検定での上位級合格や各種発表会での上位入賞など、多くの生徒が頑張りを示してくれました。平成30年度の武修館中学校と武修館高等学校の教育活動も4月9日の始業式、そして翌日の入学式によってス

タートと切りました。中学校には少し大きめの制服に袖を通し高い志を抱いた8名が、高校には武修館中学から難関大学進学目指して13名が一貫コースへ、遠くは東京都や栃木県日光市から競技力アップとトップアスリートを目指して47名が体育コースへ、興味や関心のある学習・部活動に打ち込める環境を求めて79名が普通コースへ、それぞれ入学し、中学48名、高校378名、総勢426名の生徒が自らの夢の実現に向け教育活動に懸命に取り組んでいます。今後とも、本校生の頑張りに御支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ◆ JRC・IAC 加盟登録式

本校では、毎年JRC・IAC加盟登録式を実施しております。今年も釧路ロータリークラブ会長の 邵 龍 珍 様、日本赤十字社北海道支部釧路市地区 奥山 栄子 様をお迎えしてバッジの受領、代表生徒の誓いの言葉、御来賓の挨拶が行われました。

本校では、JRCに加盟しているのは、高校は普通コース全員と中学生全員が加盟しIACに加盟しているのは、高校は体育コース全員と一貫コース全員が加盟しIACの活動目標である校訓「愛と奉仕に生きる」の実践として次の3つの目標を持ち活動をしています。

①地域社会に奉仕する（世のため人のために役立つ）②国際間の理解と親善を深める（世界に目を向け世界の青少年と仲良くする）③思いやりの気持ちを持つ（相手を尊重し互いに助け合う）事を目標に活動しています。

また、JRCの活動目標は、校訓「愛と奉仕に生きる」の実践として次の3つの目標を持ち活動をしています。①健康安全（命と健康を守る）②地域社会に

奉仕する（世のため人のために役立つ）③国際間の理解と親善を深める（世界に目を向け、世界の青少年と仲良くする）と言うそれぞれの活動目標を達成するために、お互いに協力し合いながら地域社会に貢献できる学校づくりを目指しています。



### ◆ 避難訓練

本校では、毎年春と秋の2回避難訓練を実施しております。今回の訓練は、大きな地震が発生し、家庭科室より出火したことを想定にしての実施となりました。

避難行動の原則に基づき「無言」・「沈着」・「敏速」を徹底し、訓練の目的である①非常時（火災・地震）における身体及び生命の安全を確保するには、慎重かつ迅速に避難を完了することが必要となるので、その行動形態を体得する。②実際の災害を想定し、教員配置等を事前に配置せず、現場にいる教員の判断・指示により訓練にあたることを目的とするという、今までとは違いより実践的な訓練を行いました。中には話ながら避難する生徒もいましたが、このような訓練を日頃よりしっかりと身につけ取り組むことが、自分の命を守



ることにつながると言うことをしっかりと考えて行ってほしいと思っています。その後、校長からの講評に引き続き、場所をグラウンド後方に移動し防災センターの説明を受け各クラスから代表者を選び消火訓練を行いました。このような災害は、いつ何時引き起こるかわかりません。各自がしっかりと自覚を持ち真剣に取り組んでほしいと思っています。

### ◆ インターアクトクラブ短期海外研修

私は、インターアクトクラブを代表してプーケットでの短期海外研修に行かせていただきました。日本との文化や環境、信仰の違いなどたくさんを学んで帰国しました。次の日の朝、プーケットの高校生が私たちを迎えに来てくれ二人一組でバスに乗り植樹を行いました。その道中にお互い片言の英語でしたがコミュニケーションを取ることができとても楽しい時間を過ごすことができました。現地の高校生と協力して植樹を終えたあと、いつも植樹をボランティアで行っている町の人からお話を

大きくかけ離れていて教室には壁がなくトイレが外にあったりと大きな違いを感じました。今回の研修で日本では経験することのできない貴重な体験をさせていただきました。いかに自分が恵まれた環境で生活しているかを改めて考え直すことができました。これからも、この恵まれた環境に感謝しつつこの研修で学んだことを活かしながら残り少ない学校生活を過ごしていきたいと思っています。

いただき、プーケットでも森林の減少が深刻な問題になっていて、誰かが植樹を行わないと森林はどんどん少なくなってしまおうという現状を知り、このような現状を食い止めるためにも「ボランティアスピリット」を多くの人に広めて行くことが大切なことだと痛感しました。また、その一歩としてこの植樹活動に関わられたことを嬉しく思いました。この日の夜は、タイのインターアクトクラブの方々との交流会があり私たちからは、それぞれの地区の旗と扇子を渡しとても喜んでもらえました。

最終日は、プーケットの小学校を訪問しました。が学校の設備は日本とは



## ◆ バドミントン部 男・女アベック優勝

日常生活から結果へ。  
 こんにちは、バドミントン部顧問の山田滉です。皆様の御協力・御声援のお陰で高体連釧根支部団体戦において男女アベック優勝を飾ることができました。この結果は今まで応援してくださった武修館の生徒の皆さん、教員の皆様、保護者・地域住民の方々の御支援のお陰だと思っております。男子は3連覇、女子は初優勝でした。男子は追われる立場として、女子は追う立場として決勝戦の最後の試合まで集中して戦い抜いてくれたと思います。特に3年生の佐藤は準決勝で強敵相手に白星をあげ、チームの優勝に大きく貢献してくれました。  
 ただ翌日からの個人戦は良い結果と

は言えるものではありませんでした。日常生活や練習のだらしない・意識の低い部分がでてしまったなという印象でした。全道大会では1つのショットにさえ集中して戦えるよう、日頃の練習や日常生活において意識を高く持って臨んでいってほしいと思います。応援ありがとうございました！

山田 滉



## ◆ 女子バレーボール部 高体連釧根支部初優勝

「コートの中に生活あり、コートの外に勝負あり。」  
 高体連釧根支部予選会において、初優勝を飾ることができました。4月から1年生が加わり、新チーム16名で「体力・気力・チームワークの向上」を目標に日々の厳しい練習や練習試合、合宿などにチーム一丸となって取り組んできました。挨拶、礼儀や学校生活態度の見直しや、体力づくりや食生活など、チームで決めた規律をみんなを守るために苦しい思いもりましたが、優勝できて努力が報われました。  
 最後に、この結果は武修館の生徒の皆さん、教職員、保護者、地域の方々

のご支援、ご声援のお陰と思っております。この結果に満足することなく、北海道予選会でも良い結果を報告できるよう頑張ってもらいます。これからもご声援よろしく願いいたします。

主将 関根羽乃



### ◆ ごあいさつ

武修館高等学校

藤田修平

今年度より武修館高等学校の理科教員として勤務することになりました、藤田修平と申します。

3月に大学を卒業したばかりの新人なので、周りの先生方のご協力を頂きながら過ごしています。着任してまだ間もないですが、武修館高校の生徒たちは挨拶や礼儀がしっかりとしていて、元気がとても良いのが印象的です。挨拶・礼儀は社会人になってからも必ず必要なことなので、生徒の見本になれるよう気を引き締めて生活していこうと思います。日々の授業や部活動でも、教える立場ではありますが、同時に私自身も学ぶことが沢山あります。

私自身高校までは釧路で学び、たくさんの方々のご協力を得て、大きく成長

することが出来ました。そんな自分を育ててくれた釧路で、今度は自分自身が子供たちを導く立場として少しでもこの地に貢献したいと思い、教員を志すことにしました。大学は日本大学に進学し、今までとは異なる環境に身を置くことで、さらに新たな経験を数多く体験することが出来ました。

高校時代の学年目標であった「夢を現実に」を今度は生徒たちが実現できるよう私自身の心に刻み、毎日を無駄にせず大切に過ごしていこうと思います。まだまだ若輩者ではありますが、若い力を存分に発揮し生徒と共に、生徒以上に成長していきたいと思っていますので、これからよろしくお願い致します。

## 武修館中学校

### ◆ 1年生にして英検2級合格！ 石岡奈々加さん

現武修館中学校2年A組の石岡さんは平成29年11月に実用英語技能検定の2級を取得しました。英検2級は高校卒業程度の能力が必要とされ、筆記だけでなくリスニングや二次試験の会話の能力なども高い水準が求められます。中学1年生にしてこれに合格することは大変な快挙です。

石岡さんは昔から英語が大好きだったので「2才の頃から英語教室で英語の歌を歌ったりしてきた」とのことです。昨年度から始まった英作文の試験にも英語教室での経験が役立ったそうです。

今後どのように英語の力を役立てていきたいかと質問したところ、「一時

期は英語を使う仕事に就きたいと考えていたが、今は外国の方も診察できるような医師になりたい。」と考えているそうです。

「英語教室に通い、武修館に入学し、英検を受けられるのは両親のおかげ。感謝している。」と石岡さんは語ります。周囲の人への感謝を忘れない彼女の姿勢はとても素晴らしいものでした。

グローバル化が進む現代社会で本校生徒が実用的な力を身に付けてくれることは大変喜ばしいことです。将来の有望な人材としてこれからも活躍してくれることを期待します。



### ◆ 自己紹介

武修館中学校

熊谷悠介

こんにちは。私の名前は、熊谷悠介といいます。釧路に来て、2カ月ほどが経ちました。大分、釧路の生活にも慣れてきました。しかし、まだまだ釧路について分からないことばかりなので、いろいろとお勧めの場所などを教えて下さると嬉しいです。

趣味は、読書とサッカーです。好きな作家は、A.A.Milneと遠藤周作さんです。A.A.Milneは、Winnie-the-Poohの作家さんです。Winnie-the-Poohを好きな理由は、自分の人生や人類の歴史を顧みたときに、やはり一番大切なことを常に教えてくれていると感じるからです。遠藤周作さんを好きな理由は、人間の美しさと醜さの対

比を綺麗に描き出しているからです。

担当科目は、英語です。これから、私は生徒の未来を常に考えながら接していきたいと考えています。ときに、授業では課題や練習量が多くなり大変かと思いますが、それでも生徒の未来を常に中心に据えながら行動したいと考えています。

最後になりますが、私は生徒に背中を語れる人間となれるよう、日々精進していくつもりです。まだまだ、僕自身が未熟で理想には程遠いのですが、常に高い目標設定を自分に課して励む予定です。よろしくお願い致します。

## 釧路短期大学附属幼稚園



### ◆ ごあいさつ

釧路短期大学ふぞく幼稚園  
園長 森 泉

4月1日より、附属幼稚園に園長として勤務させていただいております森でございます。よろしくお願いいたします。

小学校の教員として38年間勤務し、昨年3月芦野小学校を最後に退職いたしました。1年間生涯学習センター「まなぼと幣舞」で生涯学習推進アドバイザーをしていましたが、ご縁がありまして初めて幼稚園に勤務いたしました。元気で明るく、生き生きとした子ども達との毎日は、とても新鮮です。私は、小学校で低学年担任が多かったのですが、幼稚園での保育は些か勝手が違います。小学校では「何もできない1年生」としてお世話される立場だった年長組の子達が、自分達より小さい子のお世話をしている姿には感激でした。

附属幼稚園は「子どもの遊びを応援する幼稚園」「卒園後も見守る幼稚園」という2本柱で保育がされており、自主的で体験的な遊びを推奨しています。子ども達は毎日本当によく遊び、先生達もその遊びを支えるために労を惜しまずよく動きます。

幼稚園は、認定こども園への移行を検討する大変重要な過渡期であり、国や地方自治体の動向も気にかかるところです。少子化といわれるこの時代ですが、子ども達の存在が未来を良いものにしようという大人の道しるべになっていると私は思っています。公立小学校と違って、幼稚園は選ばなければならない存在です。「選ばれる附属幼稚園」であるよう、全職員で励んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

### ◆ 卒園児お泊り会

本園では、「卒園後も見守る幼稚園」という方針の元、7月の下旬に卒園児お泊り会を実施しています。対象は小学1・2年生で、毎年多くの子ども達が参加しています。久しぶりの園舎や先生、そして学校が離れてしまったお友達と再会する姿は、ちょっぴり照れながらもとても嬉しそうです。

お泊り会では、みんなで花火をしたり、学園の体育館でドッジボールやゲームをして楽しい時間を過ごします。夜、真っ暗になった園舎や園庭を冒険する肝試しも…。

その中で、相手の気持ちを考えて行動していたり、お友達同士で協力していたり、話を集中して聞いている姿を

見ると、大きくなったな、と成長を感じます。小学生だとできて当たり前と思うようなことも、一人ひとりの幼稚園時代を知っているからこそ、感動や喜びがあります。なにより、子ども達と一緒に過ごす時間は、かけがえのないもので、子ども達から「力」をもらう瞬間でもあります。

学校生活はどうか？好きな科目は？勉強は難しいか？等など、子ども達と話し、現在の様子も把握していきます。在園中だけ見ていれば良い…のではなく、いつまでも子ども達を応援し、卒園後もあたたかく見守る幼稚園でありたいと考えています。



### ◆ 年長秋の行事～芋掘り遠足～

年長児になると、特別な行事がたくさんあります。ノロッコ号への乗車・空港見学・冬の動物園やホースパーク等、園バスを利用して出掛け、様々な体験をしています。色々なものに興味が出てきて理解が深まったり、集団行動ができる年長児だからこそ「お楽しみ」でもあります。

阿寒への芋掘り遠足もその一つ。実際に芋畑にいき、自分の手で掘り、収穫することは、普段なかなかできない体験でもあるので、大きなお芋を探し当てると、「やったー！！」と大喜びする子ども達。まだまだ！もっともっと！と夢中に掘っている姿は、まるで

宝探しのようなのです。

芋掘りの後は、阿寒休養村の公園でお弁当を食べ、その後は広い公園内を探検をしたり、池でカエル・ザリガニ探しをしたり、遊具等でたくさん遊べます。

そして何よりのお楽しみはお芋を食べること。掘ったお芋は、家庭へ持ち帰るので、後日、「カレーライスにしたよ」「うちはポテトサラダだったよ」と、嬉しそうに教えてくれます。幼稚園でも、遠足で掘ったお芋を使ってクッキングをすることが多く、昨年度の年長児はみんなで「ポテトチップス」と「シチュー」を作って食べました。



自分たちで洗い、皮を剥き、一所懸命に作ったその味は、格別だったことと思います。

そんな特別な体験をして楽しんでいる年長児をみて、年中・少児も楽しみにしているのです。

### ◆ 遊びから学びへ ～自由遊びの姿から～

暖かくなると、元気な子ども達の声が園庭いっぱいに広がります。力いっぱいブランコを漕いだり、色々な鬼ごっこを楽しむ子や、サッカーで汗べっちょりになるまで遊んでいる子。虫を捕まえたり、お花摘みに夢中になる子。砂や水遊びで泥だらけになって遊んでいる子…。それぞれ好きな遊びを楽しむ子ども達ですが、幼稚園では、この「遊び」を大切にしています。

色水遊びでは、赤・青・黄色の水を用意し、その水を混ぜることで「紫になった！！緑になった！！」と目をきらきらさせ、色が変わることを発見し

ます。虫を捕まえて、じっと観察し、足が何本あるのか、体はどうなっているのかを知ります。集団遊びでは、人数を数えて、その数を半分に割ってチームを考えます。また、冬になると、子ども達は、水や雪を「持って帰りたい」と室内に持ってくることもしばしば。作った雪だるまを保育室に飾ったこともありました。だんだん溶けて小さくなって、最後は水に…。

子ども達の遊びには、学びがたくさん詰まっています。大人が教えるだけでなく、子ども達自身が興味を持つこと、考えること、実際に体験すること



で、学びが深まっていくのだと感じます。学ぶことが楽しいと思えるような経験を、たくさん積んで欲しいと願っています。

## 釧路短期大学附属図書館

### ◆ 20年の節目を迎えて

#### 学生図書委員会「ライブラリアン」

平成11年10月、学生の意見を取り入れ、ともに図書館運営を行うためのボランティア組織として、学生図書委員会「ライブラリアン」が創設されました。図書館司書をめざす生活科学専攻の学生はもとより、図書館に関心を寄せる学生誰もが図書館の活動を体験できる場として多くの学生が活動に加わり、本年度20年の節目を迎えることができました。近年では新たな活動として、あらゆる情報の発信にチャレンジしています。

道東域で開催されるイベント情報を取りまとめた「ライブラリアンニュース」。簡易型のホワイトボードを使った図書館や図書の利用を促す啓発物。自ら書店で選んだ図書を薦めるポップや案内板。いずれも手書きで作成し、館内や入口に掲示することで学内外の

図書館利用者に向けた推進活動を展開しました。また、コミュニティ放送局「FMくしろ」のCM枠を活用した図書館紹介にあたっては、すすんで原稿の読み手も務めてくれました。

従来の活動にも意欲的に取り組み、ライブラリアンが手掛ける図書館情報誌『エスキース』では、平成29年2月発行の26号から表紙と一部誌面をカラー化。同時にカテゴリー別の目次に移行するなど部分的なリニューアルも図りました。

先輩が積み上げてきた活動を踏まえ、さらに図書館や利用者のためにできることを追求し行動する。図書館運営の一端とはいえ、直に触れる意義は大きく、活動の意欲につながっているものと思います。今後も活躍に期待しています。



### ◆ 文献探索講座

#### 必須な柱、図書館利用教育

新年度開始とともに附属図書館では、「文献探索講座」を開設します。

本館では一学年を対象に、幼児教育学科、生活科学科は生活科学専攻、食物栄養専攻ごとの、計3クラスです。

文献探索講座は、新入生の学習、調査を支援するため行われます。大学の講義に慣れ、講義のなかで教員から指示される文献を読みこなし、いく度となく体験するレポート課題をまとめあげるうえで、蔵書とネット情報に対する深い理解が必要です。

毎年、学科・専攻の教員から示される計画にそって、文献探索講座は専任の図書館職員が担当しています。文献

を探しだすための知識ばかりでなく、文献の利用する方法が最初のポイント。さらに今日的にはインターネットのホームページを探索してみるなど、収集の方法にとどまらず、引用の仕方についても例示しています。

本学の「文献探索講座」は昭和62年から始まり、当初は専攻の一部で試行されていましたが、現在では一学年は入学当初、科目によっては2学年でさらに専門的な学術書紹介をすすめています。

「文献探索講座」は図書館利用教育の必須な柱として、短期大学教育では重要視されています。



## 釧路短期大学生涯教育センター

### ◆ 30年の節目を迎えて

#### 釧路短期大学生涯教育センター

生涯教育センターは、昭和63年4月1日に生涯教育の実践と理論の確立をめざし、その第一歩を踏み出しました。本学が保有する知的資産を地域に還元し、広く学習要望に応えるため、テキストの刊行に依拠した講座開設に取り組み、これまで標茶町との提携を中心とした「子育て講座」や「標茶町の歴史」など多くのシリーズを制作してきました。その経過は毎年あるいは隔年ごとに年報にまとめ、公表しています。

平成14年には「道東文化塾」を開設。生涯教育センターを代表する講座として認知され、毎年多くの方に受講いただいています。道東地方の文化的意義を考えるため、各分野の専門家に最新の話題を提供していただくとともに、地域で生涯学習指導者として活躍して

くださる方の掘り起こしをしています。

また同年、市民対象の生涯教育講座に加え、「リカレント講座」をスタートさせています。この講座は、本学専門課程を卒業し、それぞれ現場で主要な任務に就いている方を対象に、業務に必要な技術の学び直しと、新しい情報の提供をめざすものです。同時に、専門的業務に携る各関係機関の方々にもご参加いただき、当面する課題への理解と対応の共有を図っています。

本学の教育理念が示す通り、地域社会の文化向上と地域で活躍する専門的職業人の育成を主眼とする着実な歩みのもと、たどり着いた30年の節目。万人に開かれた高等教育機関として、さらなる充実と定着促進を図ります。



### ◆ KJC ランド特設コーナー

#### 『北海道の150歳をお祝いしよう!』

生活科学科生活科学専攻卒業・現研究生 岩島 匡亮

かつて『蝦夷地』と呼ばれていた地域が、松浦武四郎により『北海道』と命名されて150年の節目を迎えます。この地で積み重ねてきた歴史と先人たちの偉業を振り返り、次の50年に向けた事業の一環として、第4回KJCランドでは、釧路総合振興局と附属図書館の共同で『北海道の150歳をお祝いしよう!』というコーナーを設けました。

所属ゼミの指示により我々も参加しましたが、当コーナーのプログラムでは、松浦武四郎に関する絵本・資料を紹介したほか、子どもたちによる北海道150年ロゴマークのちぎり絵を実施しました。全体で実施していたスタン

プラリーの効果も相まって、たくさん子どもたちの参加を得ることができて、とても充実した時間になったと思います。また、子どもたちを幼児教育学科の学生に託し、松浦武四郎の資料に目を通して保護者の姿が印象的でした。この地の歴史と先人から学ぶべきことはたくさんあり、今回のプログラムをきっかけに、生涯学習の意欲へと繋がることを願っています。

北海道命名から150年もの時間が流れ、次の50年に向けた未来の北海道を展望する時が来ました。200年目の北海道を見据えるなかで、今回のプログラムが貴重な第一歩になったのではないかと思います。



## 学園事務局



### ◆ 「向上心を持ち、前へ」

学校法人緑ヶ岡学園

常務理事 林 正 昭

緑ヶ岡学園は釧路唯一の私学として、釧路短期大学、武修館高等学校、武修館中学校の3つの学校と短期大学附属幼稚園を運営しております。

学園では、全ての学生・生徒・園児の皆さんが夢と希望に満ちた光輝く未来を力強く切り開いていくことができる教育の推進を目標として、教職員の皆さんのご協力をいただき、それぞれに特色を持たせた魅力ある学校づくりを進めてまいりました。

お陰を持ちまして、勉学、スポーツ、ボランティア活動など、色々な面で地域の皆さんに認められるまでになってきていると感じています。しかし、そのような評価に満足することなく、各学校には、「今やっていることはこれで良いのか、もっと良い方法はないのか」と言った問題意識を常に持ち続け

ていただきたいと思います。単なる自己満足で終わらせることなく、今やっていること、やろうとしていることが、本当に学んでいる学生・生徒・園児のためになるのか、なっているのかを自問自答し、向上心を持って前に進む、そのような姿勢が自分を高め、学校全体の教育力を高めることにも繋がってきます。

これからも、各学校には、前例に捕らわれることなく、疑問があれば、学校長を中心に、お互いが学び合い協力しながら、一つずつ解決していくなど、学生・生徒・園児からも、また保護者、地域からも更に期待され、自慢できる学校作りに向け、教職員が一丸となった取り組みをお願いしたいと思っています。

## ◆ 釧路緑ヶ岡学園福祉会

美原保育園／桂恋保育園／ことぶき保育園／双葉保育園

おかげさまで当法人は、来年2019年11月には設立40周年を迎えます。

1980年1月に開園した美原保育園を皮切りに、桂恋保育園・ことぶき保育園・双葉保育園を加え現在は4園275名定員で運営しています。

各園で働く保育士先生の多くは釧路短期大学の幼児教育学科の卒業生ですが「愛情・信頼・貢献に努める」との理念の基、やさしい笑顔と思いやりの気持ちをもって毎日の保育に励んでいます。



### 編集後記

釧路では穏やかな桜の季節が過ぎたと思えば、大阪北部をはじめ各地で起きた大きな地震や、普段は穏やかな瀬戸内での豪雨など、自然は時として人間に残酷ともいえるほどの牙をむきます。被害に遭われた皆様にはお見舞い申し上げます。この天変地異ともいえる現象によりたくさんの命が奪われたことは切なさ、悲しみ、憎しみすら覚えますが、この自然の中で生かされている生き物は受け入れて生きていくことしかできません。ただ、牙をむくだけが自然ではありません。いつか頬を心地よくなるそよ風、作物を实らせる優しい雨、生き物すべてを包み込む優しい日差しが必ず幸せを運んでくれる事と思います。その日が一日でも早く来るように願ってやみません。

### 編集委員

斎藤 修 (事務局)  
田澤 央 (短大)  
種市 裕友 (高校)  
大場 智司 (中学)  
石澤香奈子 (幼稚園)  
菊地 正明 (図書館)

## ◆ 「耐震工事をしています」～緑ヶ岡校舎～

今年度は、短期大学校舎の既存の壁を耐震壁に補強することや、附属幼稚園園舎、体育館の基礎コンクリートの補強など耐震改修工事を実施しており、工事が完了するまでの間は、短期大学、幼稚園ともに教室を移動しながら授業を行うなど、多少のご不便をおかけすることになりますが、極力授業に支障のないように配慮してまいります。

工期は、来年3月までを予定しており、それぞれの学校のおおよその工事期間は次のとおりとなっています。

この工事により、震度7クラスの地震でも倒壊しない、地震に強い校舎となり、学生・園児の安全性が担保されることをご理解いただきご協力をお願いいたします。

【旧専門学校】

- ① 4月～8月上旬→1階と2階の校舎
- ② 8月～12月→3階の校舎

【短期大学】

- ① 4月～8月上旬→1階の事務室、1階のスリット工事、2階の保健相談室、サーバー室、製作実習室
- ② 夏休み期間→図書館とOA教室、2階の学長室と各教授の研究室
- 1階の化学実験室、準備室、渡辺研究室、調理実習室
- ③ 10月～3月→1階から3階までの残り（仮校舎で授業）

【体育館・渡り廊下】

- ① 4月～11月→体育館及び渡り廊下
- 【幼稚園】
- ① 8月～12月→園舎（仮園舎で授業）



## ◆ 専門学校の閉校と証明書の発行について

本学園の次の専門学校は、時代とともに歴史をかさねてまいりましたが、平成30年3月を持ちまして、閉校いたしました。

関係各位の方々には、30年の想いを込めてお礼申し上げます。

- 平成元年4月～平成8年3月：釧路情報処理専門学校
- 平成2年4月～平成17年3月：日栄総合技術専門学校（日栄学園）
- 平成8年4月～平成17年3月：釧路情報ビジネス専門学校
- 平成17年4月～平成24年3月：釧路福祉・情報専門学校  
（日栄学園を緑ヶ岡学園に統合し、2校を統合）
- 平成24年4月～平成30年3月：専門学校釧路ケアカレッジ

上記の各専門学校の履修証明(社会福祉主事任用資格の履修証明も含む)、卒業証明などは、学園事務局へお問い合わせください。

ただし、次の資格証明などに関しては、各管轄機関へお問い合わせください。

資格名	手続内容	名称	所在地・連絡先
介護福祉士登録	氏名変更再発行	公益財団法人 社会福祉振興・試験センター 登録部	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-5-6 TEL03-3486-7521
レクリエーション インストラクター	記載事項の変更再発行	公益財団法人 日本レクリエーション協会 公認指導者登録センター	〒110-0016 東京都台東区台東1-1-14 ANTEX24ビル TEL03-3834-1091
障害者ガイドヘルパー 2級ヘルパー	氏名変更再発行	北海道釧路総合振興局 保険環境部社会福祉課	〒085-0835 釧路市浦見2-2-54 TEL0154-43-9255
技能照査合格証書	氏名変更再発行	北海道立釧路高等技術専門学校 能力開発総合センター	〒084-0915 釧路市大葉南1-2-51 TEL0154-57-8011
医療的ケア基本研修	再発行	北海道保健福祉部福祉局 地域福祉課	〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 TEL011-231-4111(内線25621)
ワード・エクセル資格	再発行	北海道職業能力開発協会 総務部 総務企画課	〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条1-1-2 北海道職業能力開発支援センター内 TEL011-825-2385